

PET 検査件数に関するアンケート調査報告 第2報

日本アイソトープ協会 医学・薬学部会
サイクロトロン核医学利用専門委員会
FDG PET ワーキンググループ
日本核医学会 PET 核医学委員会

はじめに

日本アイソトープ協会 医学・薬学部会サイクロトロン核医学利用専門委員会と日本核医学会 PET 核医学委員会では、平成 15 年 6 月に続いて、平成 16 年 9 月を対象に PET 検査件数のアンケート調査を実施した（前回結果は本誌 2003 年 11 月号掲載）。

今回のアンケートの目的も、PET 検査を実施している施設における保険診療と保険診療以外の検査の実施状況を調査することであった。

1. アンケートの回収率

アンケート用紙を平成 16 年 11 月に PET 検査を実施している 62 施設に送付し、12 月上旬に返送していただくようお願いした。回答（一部は 10 月のデータ）が 45 施設（42 施設）から寄せられ、回収率は 72.6%（89.4%）であった。なお、以下（ ）内は前回の調査結果を示す。

2. 質問項目と回答の集計結果

各項目の質問内容と回答の集計結果を以下に示す。

2.1 PET カメラの台数

問 1 では、平成 16 年 9 月現在の PET カメラの台数について質問した。タイプ別の回答結果を表 1 に示す。今回から PET/CT が登場したことが目新しい点である。

2.2 FDG PET 検査の診療報酬点数

問 2 では、FDG PET 検査の共同利用率について質問した。回答結果を表 2 に示す。大学病院では、7,500 点で診療している施設が 36.4%（26.7%）、全

体では 68.9%（46.3%）の施設が 7,500 点で診療している。

2.3 FDG を用いた PET 検査件数

問 3 では、FDG を用いた PET 検査件数について質問した。回答結果を表 3 に示す。

FDG の検査件数は、1 か月間で 9,130 件（4,986 件）、保険診療は 4,289 件（2,902 件）、47.0%（58.2%）、自由診療は 4,647 件（1,833 件）、50.9%（36.8%）、研究等が 194 件（251 件）、2.1%（5.0%）であった。施設数でみると、保険診療を実施している施設が、45 施設中 39 施設（42 施設中 36 施設）、自由診療（健診・ドック）を実施している施設が 29 施設（14 施設）、研究等を行っている施設が 21 施設（23 施設）であった。保険診療の 4,289 件中、7,500 点で実施されている検査は 3,707 件（1,638 件）、86.4%（56.4%）であった（表 4）。

2.4 保険診療の適応疾患別件数

問 5 では、保険診療が認められた FDG PET 検査の適応疾患について質問した。回答結果を表 5 に示す。適応疾患 12 疾患のうち、肺癌がもっとも多く、悪性リンパ腫、大腸癌など悪性腫瘍関係が上位を占めている。

2.5 保険適用を要望している疾患の件数

問 6 では、健康保険に認められていないが、保険適用を要望している疾患の検査件数について質問した。回答結果を表 6 に示す。

2.6 ¹⁵O 酸素ガスを用いた PET 検査件数

問 7 では、¹⁵O 酸素ガスを用いた PET 検査件数について質問した。¹⁵O 酸素ガスを用いて保険診療を実施している施設は 45 施設中の 12 施設（19 施設）、

また、平成 16 年 9 月の 1 か月間（一部 10 月で回答の施設を含む）の保険診療は 82 件（173 件）中の 65 件（165 件）であった。健診・ドックの目的での施行は前回同様 1 件もなく、研究目的は 17 件（8 件）であった。

おわりに

本アンケート調査の結果は、平成 18 年度の診療報酬改定に向けて、日本核医学会を中心とする関係学会から要望している事項について大変重要な資料となった。

本調査によって以下の点が明らかとなった。

- 1) FDG PET 検査が保険適用となって 2 年以上経過したが、自由診療の比率が増加したこと。
- 2) 大学病院では、保険診療を行う際の施設基準に定められた共同利用率に適合する施設数が増加していないこと。
- 3) 新たに保険適用が要望されている 3 疾患についての実施状況が把握できたこと。

最後に、両委員会は本報告を公表するに当たり、お忙しい中を多くの施設からご回答いただいたことに対して、心より感謝いたします。

表 1 PET カメラの台数

カメラのタイプ	台数	比 (%)
2D 専用タイプ	12(16)	15.0(23.9)
2D・3D 両用タイプ	48(51)	60.0(76.1)
3D 専用タイプ	10()	12.5()
PET/CT(複合型)	10()	12.5()
合計	80(67)	

表 2 FDG PET 検査の施設分類別診療報酬点数の状況

施設区分	診療報酬点数	施設	比 (%)
大学病院	保険請求なし	1(2)	9.1
	6,000 点	6(9)	54.5
	7,500 点	4(4)	36.4
国公立病院	保険請求なし	3(2)	27.3
	6,000 点	2(4)	18.2
	7,500 点	6(7)	54.5
民間病院	保険請求なし	2(2)	8.7
	6,000 点	0(3)	0.0
	7,500 点	21(9)	91.3
全体	保険請求なし	6(6)	13.3
	6,000 点	8(16)	17.8
	7,500 点	31(20)	68.9

表 3 FDG PET 検査の検査目的別実施件数

検査の目的(施設数)	件数(前回)	%(前回)
保険診療 39(36)	4,289(2,902)	47.0(58.2)
自由診療 29(14)	4,647(1,833)	50.9(36.8)
研究等 21(23)	194(251)	2.1(5.0)
合計	9,130(4,986)	

表 4 FDG を用いた保険診療の点数別内訳

点数の区分	件数(前回)	%(前回)
6,000 点の検査件数	582(1,264)	13.6(43.6)
7,500 点の検査件数	3,707(1,638)	86.4(56.4)
合計	4,289(2,902)	

表 5 FDG PET 検査の保険診療の適応疾患別内訳

適応疾患名	件数(前回)	比(前回)%
肺癌	1,348(730)	31.8(26.2)
悪性リンパ腫	524(286)	12.4(10.3)
大腸癌	510(305)	12.0(11.0)
乳癌	432(244)	10.2(8.8)
原発不明癌	430(328)	10.2(11.8)
頭頸部癌	418(298)	9.9(10.7)
転移性肝癌	180(223)	4.3(8.0)
脾癌	178(148)	4.2(5.3)
脳腫瘍	99(91)	2.3(3.3)
悪性黒色腫	48(30)	1.1(1.1)
てんかん	39(58)	0.9(2.1)
虚血性心疾患	28(44)	0.7(1.6)
合計	4,234(2,785)	

注) 適応疾患の内訳合計は、保険診療の件数より少なく回答されている。

表 6 FDG PET 検査の保険適用を要望している疾患

疾患名	件数
食道癌	56
婦人科癌(卵巣癌)	45
婦人科癌(子宮癌)	52